養 お蚕の学校高山社 蚕を次世代に 5/3

５月３日から７日まで高山社跡には、桑を背負っているおばあちゃんらを模したちりめん創作人形や藤岡の燻し瓦に印を刻した瓦泥印、掛け軸などが展示され、多くの人が訪れました。３日に行われた「高山社情報館フェスタ」では、座繰り体験や繭クラフトなどを通して、参加者は養蚕文化に触れ、楽しんでいました。また藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団が蚕の成長に合わせた飼育方法などを歌詞に盛り込んだ「養蚕唱歌」などを披露し、美しい歌声で訪れた人を魅了しました。

美しい歌声を響かせる合唱団。会場を一層盛り上げました。

淡い紫のシャワーが今年も観光客を迎えました。

非 やさしい彩りの中で 日常のひとときを 5/3

毎年恒例のふじまつりが今年も開催され、市内外から10万人が来場しました。昼の藤棚、そして夜のライトアップ、藤のほのかな香りと落ち着いた色合いは見る人の心を和ませました。

イベントも多彩で、野外コンサートやダンス、そして大道芸などで多くの演者たちがパフォーマンスを披露しました。磨き上げられた技の数々を見て、観客も大興奮。ジャグリングを見た男性客は「シンプルだけどとてもマネできない。熟練の技だ」と驚きの声をあげていました。

勇壮な演技を披露。

引 地域の誇り き継がれる伝統芸能 5/7

みかぼみらい館で「郷土芸能鑑賞会」が行われました。市内から６団体が出演し、各地域に伝わる伝統的な郷土芸能（獅子舞・祭囃子・太々神楽）を披露しました。自分の地域に誇りを持つ出演者の舞は美しいものであり、観客を魅了しました。

中学生が作ったロボットで楽しんでいました。

元 エコ活動を通して 気いっぱい、笑顔いっぱい 5/5

中央公園では、市内の中高生ボランティア協力のもと、子どもフェスティバルが開催されました。このイベントではリサイクル品を集めてエコポイントと交換することでいろいろな遊びに参加できます。参加した子どもは「また来年も参加したい」と笑顔を見せました。

つかまえた大きなマスをドキドキしながら袋へ。

マ 大自然の中でおおはしゃぎ スのつかみどり 5/3

土と火の里公園で子どもフェスティバルが開かれ、市内外から多くの人が訪れました。工房での体験や金魚すくいなどさまざまなアトラクションがある中、盛況だったのがマスのつかみどり。木々に囲まれた渓流にマスを追いかける子どもたちの歓声が響きました。

日本橋三越本店新館に展示された女神輿。

絹 修復が完了した女神輿 が結んだ交流 5/3

諏訪神社に奉納されている２基の御神輿のうち、148年ぶりの修復が完了した女神輿。日本三大祭りの一つとされる神田祭に合わせて、日本橋三越本店新館で特別展示が行われました。修復された神輿は一層の力強さと輝きを放ち、見る人を感銘させていました。